

令和6年度 福生市校長会

I 活動方針・重点事項等

- 「すべてはふっさっ子の未来のために」
- 学力向上・規範意識の醸成・基本的な生活習慣の定着
- 小中一貫教育の推進



II 活動・取組

1 経営研修

学校経営を担う人材育成を目指し、年間を通して実施

- (1) 開校式 令和6年6月12日(水) 講話 福生市教育委員会教育長
対象：副校長、教育管理職選考受験者、四級職選考受験者、任用審査対象者 計17名
- (2) 論文指導 市内の校長2名が担当して実施 (経営研修担当が担当の割り振りを計画)
- (3) 面接指導 受験者につき2回実施 受験時期に合わせて設定 (7月～10月)
- (4) 閉校式 令和7年2月 講話 福生市教育委員 指導課長

2 コミュニティ・スクールとしての充実

令和2年度で市内すべての学校がコミュニティ・スクールとなった。コミュニティ・スクールとしての取組の充実が求められており、校長会としても重点としている。5月には、コミュニティ・スクール総会を実施し、市内小・中学校10校のコミュニティ・スクール委員が集まり、代表校の報告やテーマにそって協議を行っている。今年度は、市教育委員会、市内教員、コミュニティ・スクール委員、計108名が参加した。

総会 令和6年5月11日(土) 14時00分～16時00分

テーマ：「持続可能なコミュニティ・スクールの在り方(学校を支える活動に着目して)」

3 小中一貫教育の推進

- (1) 中学校区の交流会を年2回実施

1学期、2学期に各中学校区の交流会で、授業参観を行うほか、分科会を行い、学習指導、ICT教育、生活指導、特別支援教育、校務改善等について教員が情報の共有及び指導の方向性について協議

- (2) 市教育研究会での小中一貫教育の取組

市教育研究会は、小学校、中学校の教員で各教科等の部会を組織し、義務教育を見通した小中9年間において育む資質・能力を研究の視点とし、授業研究を通して授業力の向上を図る。年間7回実施

III 特色・特徴等

<福生七夕まつり>

コロナ禍後、昨年から七夕まつりを開催。昨年は、2日間で53万人が集まり、これまでの記録を大きく上回り、賑わいを見せた、今年度は、7月に3日間で開催。

令和6年7月19日(金)～21日(日)

